

点検・評価の様式

政府統計コード	00450022
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	患者調査
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(厚生労働省白書等において利用)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none">☐ 1.調査の目的☐ 2.調査対象の範囲 ※☐ 3.報告者数等※ { 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }☐ 4.報告事項とその基準期日 ※ { 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }☐ 5.報告の方法 ※ { 報告を求めるために用いる方法 }☐ 6.報告を求める期間 ※☐ 7.集計事項 ※☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※ { 調査結果の公表の方法及び期日 }☐ 9.使用する統計基準☐ 10.調査票情報の保存 { 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }☐ 11.立入検査 { 基幹統計調査のみ } <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">() 全項目整合 ()</div>
-----------------------------	--

(注1) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②に記載

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等	<ul style="list-style-type: none"> □ 課題なし □ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む） □ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
---	---

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	調査票に記入された傷病名（自由記載）は、ICDに準拠した「疾病、傷害及び死因の統計分類」に基づき符号付けを行っているところだが、傷病名の記載揺れ等により符号の自動付与が困難な場合があり、職員の目視での符号付けの作業に多くの時間を要している。 このため、令和7年度の厚生労働科学研究事業により、符号付けプロセスの効率化等に係る可能性を検討している。	調査計画の見直し・改善 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み ○ その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し ○ その他	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	業務マニュアルの整備について、令和5年度に実施した省内の業務マニュアルの点検結果を踏まえ、拡充が必要な業務マニュアルの洗い出しを行い、令和7年3月までに不足していた業務マニュアルの整備を行った。	調査計画の見直し・改善 ○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善 品質の表示 変更管理の実施 遅延調査票への対応 外部委託先からの意見や改善提案の聴取 DXの実施、データのデジタル化 システムの要件・仕様の可視化 プロセス診断結果の取り込み その他プロセスの段階的な向上に向けた取組	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 ○ 業務マニュアルの整備・充実 実施方法の見直し その他	対応済

③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は3回前の調査)
1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	○ 達成精度	目標精度については、予算上の制約を踏まえ、前回調査の達成精度及び母施設数を勘案して、病院の入院については二次医療圏別の推計入院患者の総数、病院の外來、一般診療所、歯科診療所については都道府県別の推計患者の総数において、ほぼ前回並みの精度を確保できるよう抽出数を設定している。 目標回収率は前回調査の実績を踏まえ、施設別の回収率を設定している。	-	令和5年 標準誤差率(平均) ・病院入院(二次医療圏別) 0.6% ・病院外來(都道府県別) 2.4% ・一般診療所(都道府県別) 5.8% ・歯科診療所(都道府県別) 12.3% 回収率 ・病院 98.6% ・一般診療所 93.6% ・歯科診療所 93.4%	令和2年 標準誤差率(平均) ・病院入院(二次医療圏別) 0.8% ・病院外來(都道府県別) 2.7% ・一般診療所(都道府県別) 5.7% ・歯科診療所(都道府県別) 10.2% 回収率 ・病院 98.4% ・一般診療所 95.2% ・歯科診療所 95.3%	平成29年 標準誤差率(平均) ・病院入院(二次医療圏別) 0.6% ・病院外來(都道府県別) 2.2% ・一般診療所(都道府県別) 5.3% ・歯科診療所(都道府県別) 10.4% 回収率 ・病院 99.5% ・一般診療所 93.9% ・歯科診療所 95.5%
	○ 回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	設定なし					